

酒田大火の体験談

昭和51年10月29日（金）の午後5時40分頃発生した山形県酒田市の大火での体験談です。体験談は、消防庁消防研究所（現在、消防研究センター）が現地調査を行い、昭和52年10月の報告書に掲載されたものを抜粋しました。

なお、前回6月号35ページの焼失区域図を参照してください。

体験談その1 中町二丁目 医院

医院はグリーン・ハウスの隣りで、密着しているが入口は離れていた。トイレに行く途中で火の粉を発見したので外に出てみたら、グリーン・ハウスの屋根にある2つの空気孔のうち、前の方から炎が噴出していた。病室の方に向けつけたら、患者はすでに火災を発見していて、避難準備をしていた。こちらは風上だが、火の玉が飛んできて何も搬出することが出来なかった。

グリーン・ハウスの空気孔から風下の方の高くなっている部分（ボイラー室付近）の羽目板に火がついた。そのうちこちらの2階建ての物置小屋に火が入って燃えてしまった。そのあと、諦めて本町通りの方の建物の2階から眺めていた。

医院が焼け落ちたのは約1時間後であった。その前に火の手が協同社の方を通過して大沼デパートに入ったようであった。協同社が燃え始めると間もなく、てぶくろ横丁の開口部から火が入った。その燃え方は、炎が呼吸しているような感じで、吹いたり引っ込んだりしていた。



焼け落ちる寸前の火元のグリーン・ハウス

体験談その2 中町一丁目 建設会社従業員

出火したのは午後5時40分で、気がついたのが10分くらい後だった。外がうるさいので出てみたら煙が上がっている程度だった。それから約20分くらいたって煙がこちらになびいてきて、さらに20分くらいしてから火の粉が飛んできた。後に80年くらいたった木造の家があって、7時頃一回火がついた。天神様の向いにあって少し高くなっている所に家があったので早く火の粉が来たようだ。若い連中と消防隊がホースを持ってきたので消火に協力し

た。30～40分して家の2階に火がついたが、ほとんど我々の手で消した。

Hさんの家に火がついて消し炭のような火の粉が飛んできた。丁度斜め向いのパチンコ屋の2階に火があがって、屋根の上から青白い光が出始め、大分時間がかかったが燃え出してからだめだと思った。最後まで会社に残ったが、警察の指示で帰った。

北側のお寺の方から焼け落ちるのをながめていたが、午後10時過ぎに完全に焼け落ちた。表側よりも裏側に火のまわりが多かった。通りでみてもその近くの建物は高く古かったので、屋根の瓦の隙間に火の粉が多く入っていた。2階の壁は火の粉で火がついた。2階に上る階段あたりで、板張りの天井あたりの風下の方から燃えた。二回目の飛火が家のあっちこちに起きた。



市役所屋上からの中町一丁目

体験談その3 中町一丁目 商店

出火は午後5時40分頃で、25m程の風が吹いていた。グリーン・ハウスの火が大沼デパートの窓から入ってしまい協同社の方もいっしょに燃え広がった。建物が口型なので風がまいていた。道路のむこうと手前の両方から燃えていき、アーケードに火が煙突のように走って行った。営業中でみんな見ていたら消防力と水の力が弱かった所以对向の棟のあたりから火がぼつぼつと出ていた。大沼デパート、グリーン・ハウスの屋根から燃えてきた。

うちは十字路の角で午後9時30分頃煙が入った。隙間から煙が3階から2階へと充満し、2階に上がれなくなった。火はアーケードの端を走って行き、後の木造の部分が片っぱしから燃えた。200m幅で2丁目ぐらいが同じような速度で押されて来た。自分の店は燃えていないが囲りが火の海で入るわけにできなかった。風が強く、周りはいちもこっちは燃えていた。四方八方から炎が上がって手のほどこしようがなかった。1～2軒と焼けるのなら何らかの手だてがあるが、今回は5～10軒も一度に広がって行くのでどうすることもできなかった。グリーン・ハウス、大沼デパートの町の一角が火の海になり、道路を隔てた向い側の追路も火の海になり2丁目もみな燃えているという状態だった。

体験談その4 新井田町 保育園

あの日はもの凄い風が吹いていて、風の方向がしょっちゅう変わっていた。私が園に着いたのは、午後7時30分頃であったが、火の粉は午後10時30分頃に多く来て、落下してから粉々に散った。保育園の庭の端の方にプラタナスの葉が風で全部落ちて吹きだまりができた。そこに火の粉が落ちれば大変だと思った。市役所に応援を頼み、庭の火の粉を追いかけ

で消していた。

そのうちに役所から十数人の応援がかけつけてくれた。飛火警戒で荷物を外に出す準備が遅れて、搬出したものは特に大事なものに限り行った。園は昭和26年に開設した古い木造建物で民家に近い所が燃えた。屋根のげじという部分に12時頃飛火して近所の人から怒られた。その部分は役所の人に消火してもらった。そこが危くなったので、12時過ぎに避難した。



保育園の裏の民家が午前1時30分頃に燃えたように思う。浜田ホテルの隣のFさんの家が燃えた時点では商事会社の駐車場の隣の2軒の家は残っていたが、その後ぱっと燃え出した。保育園の遊戯室の時計が3時20分に止まっていた。燃えたのが午前2時頃だと思うが、時間的なことはよくわからない。

折からの最大風速30m近い強風あおられ、火勢は一直線に市内を走り抜けた

体験談その5 新井田町 商事会社

会社は焼け残ったが、裏の保育園は焼けた。会社が焼け残った理由は道路が三方にあって、道路幅が10m位あったこと、家の南側に駐車場があったこと、近くに新井田川があって水利に恵まれていたこと、また、家の向いに樹木があって、その樹木に放水してくれたこと等である。

放水が霧状になってこちらの方に流れてきて、窓ガラスが割れなかったので助かった。浜田ホテルの旧館が燃えたのは午前2時か3時頃だったが、その頃には煙が建物内に侵入してきて警察が避難するように呼びかけていたので、鍵をかけて避難した。保育園が燃えたのは最後で午前4時頃だと思うが、それから、こちらには移らないと思ったので家に帰った。

浜田ホテルには2階から火が入って拡大した。翌日にホテルに入ってみると防火扉があって、その部屋の方が助かったようであった。ホテルの北側は焦げていたが、南側はなんともなかった。建物の下は駐車場で下駄ばき状になっていて、その中を火が吹き抜けてHさんの家に移ったようである。Fさんの家の近くにはブロックがあって、ブロックが火に強かったように思われた。

体験談その6 東栄町 住人

中町が焼けている頃から火の粉がずいぶんきたが、風と雨が強いので息子達が体にロープをゆわえて50mの長さのホースで放水していたので防備万全だと思っていた。新井田川の川端まで焼けつくして風向きが変わってひと安心し、裏玄関の近くに腰かけて休んでいた。無意

識に裏玄関から家の中を通して表玄関に行く時(午前4時近く)に玄関の天井の方でパチパチ音がした。天井裏の10畳2間の小窓が開くようになっているので開けたら天井裏が火の海だった。畑に水を撒くための50mのホースがあったので天井裏に放水した。強い風雨だったので落ちないように、2階の屋根にロープで体をゆわえた。消防隊が来て、放水開始の許可を求められた時にはとまどったが、水の勢いで瓦がとび、家がこわれてしまうので放水はせずに帰ってもらった。息子と娘婿2人で家のホースで消しとめた。

2、3日過ぎてから屋根を半分以上はぎ、焼け木を落した。近所の人達は割れた瓦を直したと思っていたので、焼け木を落したのを見て驚いていた。



新井田町を焼き、新井田川に迫ろうとする火災

体験談その7 緑町 住人

火の粉は吹雪のようだった。屋根はトタンだから大したことはなかったが、2人あがっていた。逃げる時のために会社からトラックも1台用意しておいた。新井田川まで火がきた時は3人くらいずつ様子を見に行った。サイレンの音がしたのが午後5時半頃で、何だかうるさいなと思っていたら、向かいの奥さんが、今TVでグリーンソ・ハウスが火事だといっていると教えてくれて、TVをつけたら大沼デパートが燃えていた。それから30分ぐらいしてから(6時過ぎに)火の粉がパラパラと飛んできた。火の粉は午前4時過ぎまで飛んできたが、ほうきでたたいても消えなかった。あまり大きいのは落ちてこなくて4、5cmくらいだった。火の粉が一番多くなったのは、午後8時から午前3時頃までで、ひっきりなしに飛んできた。

浜町あたりがかなりひどく燃えていた。風が変わったのは午前1時頃で、西風から西北西の方向だった。風雨だったので、荷物を運び出すことができなかった。雨は大したことはなかったが、風は最初から20数メートルあった。煙は午後8時頃から11時頃がひどく、目をあけていられなかった。午前4時頃、いくらか下火になった。



猛火に包まれる酒田市の繁華街